

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2007-45732(P2007-45732A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-230600(P2005-230600)

【国際特許分類】

A 01N 47/44 (2006.01)

A 61L 2/18 (2006.01)

A 01N 25/34 (2006.01)

【F I】

A 01N 47/44

A 61L 2/18

A 01N 25/34 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

ノロウイルス感染による食中毒は、冬季に多発し、食中毒事件の38%を占め、食中毒事件の最も重要な原因となっている。ノロウイルスはカリシウイルス科、ノロウイルス属に分類されている直径約30nm(3×10-8m)のエンベロープを持たないRNAウイルスであり、酸性(胃酸)に強い抵抗力を有する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

さらに、患者の嘔吐物や糞便中に含まれる大量のウイルスによる二次感染も報告される。これは、患者が回復しても数日から数週間以上糞便中にウイルスが排出されることから、患者の周辺環境(ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など)に付着したウイルスによる感染であると推測されている

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

出願人は、O-157、サネモネラ菌、黄色ブドウ球菌などの食中毒の不原因菌やインフルエンザウイルスなどに効果のあるアルコール製剤を消毒液としたウェットティッシュ「除菌できるアルコールタオル」を開発し、社会福祉施設などに提供しているが、このタオルでは、ノロウイルスを短時間で不活化することができなかった。